

取扱説明書



UHF ワイヤレスアンプシステム ATW-SP808/P



特長

- 外来ノイズの影響に強い
UHF800MHz帯ワイヤレスアンプ
- 専用ワイヤレスマイク ATW-T705(別売)を
2本同時に使用可能
- 一体型なので、アンプとスピーカーの面倒な
接続が不要。
学校や講演、ビジネスなどに最適
- 高出力60Wのパワーアンプを搭載
- 外部入力端子も豊富に用意
ワイヤードマイク2本が使用できるほか、
CDプレーヤーなど外部機器接続も可能
- AC100V電源専用
- 周波数の切り替えスイッチ付きで
状況により設定可能

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。また保証書と
一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいて下さい。

ATW-SP808/P システム内容物

ワイヤレスアンプ ATW-SP808/P
AC電源コード(2.5m)

別売 用途に合わせてお選びください。

ワイヤレスマイクロホン(ハンドヘルドタイプ)
ATW-T705/P ￥40,000.(税抜)

ワイヤレストランスミッター
ATW-T107/P ￥23,000.(税抜)

ワイヤレスレシーバー
ATW-R103/P ￥36,000.(税抜)

ラベリアマイクロホン(クリップタイプ)
AT829H/P ￥8,000.(税抜)

ヘッドウォーンマイクロホン(ヘッドセットタイプ)
PRO8HEW/P ￥8,000.(税抜)

キャリーバッグ
CBG-1 ￥11,000.(税抜)

スピーカースタンド変換アダプター
CVS-1 ￥3,000.(税抜)

目次

△ 注意	2
使用上の注意	3
2本のワイヤレスマイクロホンを 使用するには	3
3本以上のワイヤレスマイクロホンを 使用するには	3
各部の名称と機能	4~5
接続のしかた	6
使いかた	6
故障かな?と思う前に	7
外形寸法図	7
テクニカルデータ	裏表紙

警告

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などをさけるため下記のことを必ずお守りください。

- 日本国内のAC100V(50/60Hz)に使用してください。
- 異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などが出ましたら、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店か、当社の相談窓口までお問い合わせください。
- 電源ケーブルは、無理な力（重たいものをのせる、引っ張るなど）を加えないでください。万一、本体やケーブルなどが傷ついた時は、交換してください。
- 分解や改造はしないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。

注意

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などをさけるため下記のことを必ずお守りください。

- 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグ部を持って行なってください。
- アンテナはゆっくりと立ててください。急に立てると目を突いたりする恐れがあり、危険です。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 水がかからないようにしてください。
- 火気に近づけないでください。
- 布などでおおわないでください。
- 長時間使用しない時には、電源プラグを抜いてください。長い間保存する時には、機器をビニールなどで包み、湿気を防いでください。
- 本製品は水平でしっかりした床面に設置してください。不安定な場所に設置すると、転倒の恐れがあり、危険です。

メンテナンス上の注意

- 汚れたときやほこりが付いた時は電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーは使用しないでください。コンセント部やプラグ部に接点復活保護液を使用しないでください。

使用上のご注意

- マイクロホンとワイヤレスアンプは2m以上離し、近づけない状態でご使用ください。
- ワイヤレスシステムは自動車のスパークノイズ、照明用調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置に設置してご使用ください。
- 本製品は必ず当社指定の機器との組み合わせでご使用ください。
- ワイヤレスマイクロホン（別売 **ATW-T705/P**）、ワイヤレストランスミッター（別売 **ATW-T107/P**）に使用されているUHF帯の電波の特性は波長が短く直進性が強いので、マイクロホンとワイヤレスアンプ間に障害物があると音切れの原因となる場合があります。見通せる位置関係でご使用ください。

2本のワイヤレスマイクロホンを使用するには

2本での使用の際は、各々異なった周波数でご使用ください。その際、チャンネル**1**の方を小さい数字にしてください。チャンネル**1**の方がチャンネル**2**よりも数字が大きい場合ノイズが発生することがあります。

また、同一の周波数で2本のマイクロホンを使用することはできません。お近くの別の場所で同じ周波数のワイヤレスマイクロホンシステムが使われている場合、混信してノイズが入りますので、周波数を変えてください。

ワイヤレスアンプの ボリューム表示	マイクロホンの 本体表示	周波数
ワイヤレス 1	1	B11 : 806.125MHz
ワイヤレス 2	2	B12 : 806.375MHz
ワイヤレス 3	3	B13 : 807.125MHz
ワイヤレス 4	4	B14 : 807.750MHz
ワイヤレス 5	5	B15 : 809.000MHz
ワイヤレス 6	6	B16 : 809.500MHz

*ワイヤレスマイクロホン（別売 **ATW-T705/P**）、ワイヤレストランスミッター（別売 **ATW-T107/P**）の取扱説明書 をあわせてお読みください。

*既存モデルの **ATW-SP77**、**ATW-SP88**、**ATW-T70**、**ATW-T17J**、**ATW-R13** をお持ちの方は、上表の周波数表示（B11～B16）をご参照のうえ、チャンネルをあわせてご使用ください。

使用上のご注意

- マイクロホン同士は2m以上、マイクロホンとワイヤレスアンプは2m以上離してください。
- 音をモニターしながらマイクロホンの電源を順にONにして雑音のないことをお確かめください。
- 使用時にハウリング（ピー、あるいはキーンという音）が発生した場合、ボリュームを絞ってください。

3本以上のワイヤレスマイクロホンを使用するには

ワイヤードマイクロホンの入力が2系統あります。ここに別売のワイヤレスシステムを購入し接続してください。

使用上のご注意

- 別売のワイヤレスシステムの使用周波数は、異なるチャンネルでご使用ください。
- 混信する恐れがありますので、増設のワイヤレスマイクロホンやトランスミッターの距離は3m以上離してください。

各部の名称と機能

① マイク1、2入力端子

ワイヤードマイクロホンに接続するφ6.3mmモノラル標準ジャックです。

② 音声出力端子 (モノラル)

本製品の音を録音したい場合に使用します。
録音したい機器のライン入力へφ6.3mmモノラル標準プラグケーブルを使い接続します。

③ ワイヤレスマイク 1、2 ボリューム

ワイヤレスマイクロホンの音量を調整します。

④ マイク1、2 ボリューム

ワイヤードマイクロホンの音量を調整します。

⑤ 受信インジケータ

ワイヤレスマイクロホンからの電波を受信するとイエローに点灯します。

⑥ チャンネル表示窓

現在設定されている受信チャンネルを表示します。

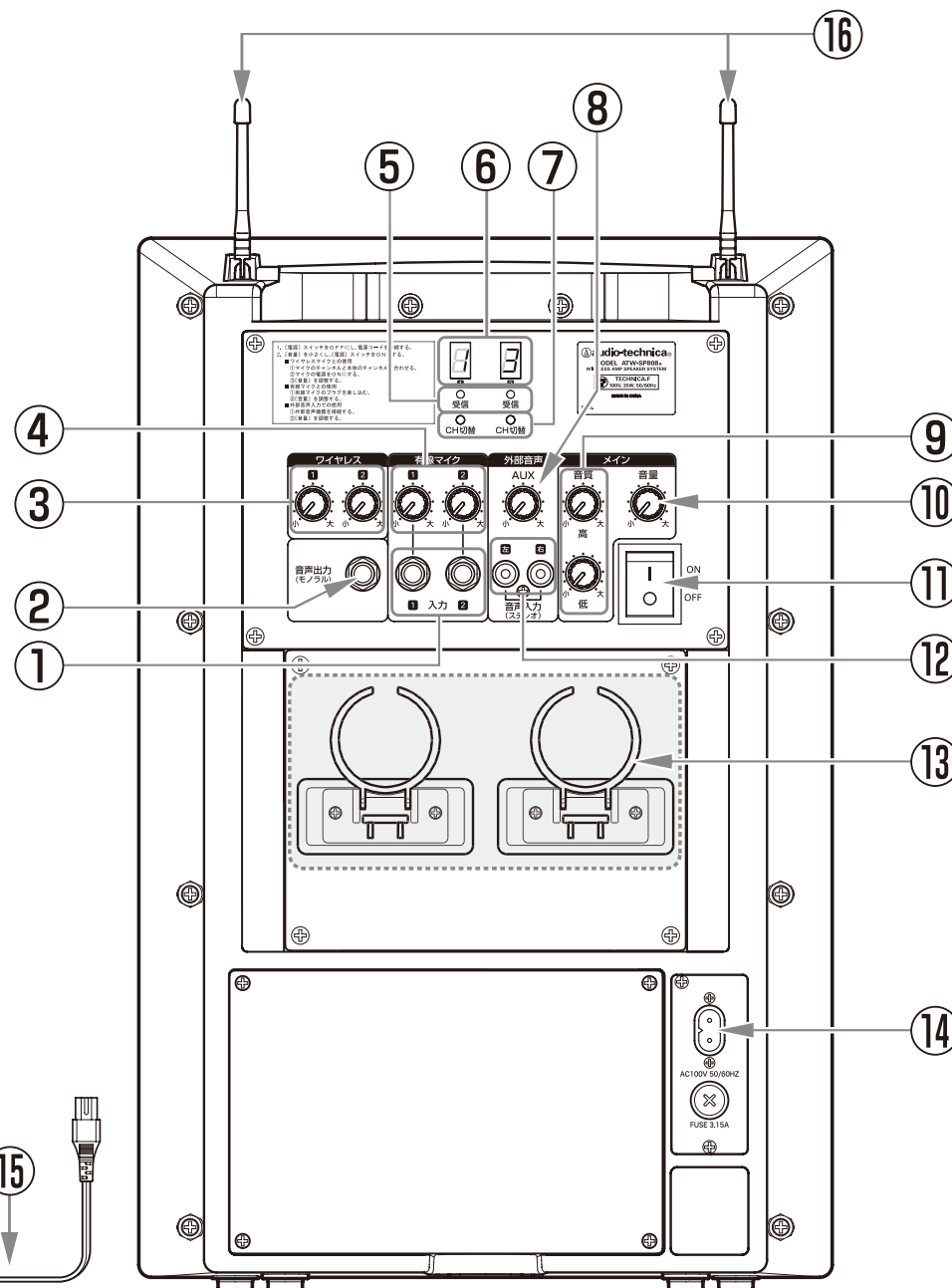
⑦ 周波数切り換えスイッチ

受信チャンネルを切り換えます。押しと順方向でチャンネルが切り換わります。

* 出荷時の設定は1と3になっています。

⑧ 外部音声ボリューム

CDプレーヤーやカセットプレーヤーなどの外部機器の音量を調整します。



⑨ 音質コントロール (高、低)

ワイヤレスマイクロホン、ワイヤードマイクロホン、外部音声のトーンコントロールです。
「高」では高音を調整でき、「低」では低音を調整することができます。
両方のコントロールをセンターポジションにすることにより、音質がフラットな状態になります。

⑩ 主音声ボリューム

出力音量を調整します。

* すべてのつまみが左に回すと小さくなり、右に回すと大きくなります。出荷時はボリュームは最小位置で、音質コントロール2ヶ所はセンターポジションで設定されています。

⑪ 電源スイッチ

ONにすると電源が入りフロントの電源インジケータが点灯 (ブルー) し、OFFにすると電源が切れます。

⑫ 外部音声入力端子 (ステレオ)

CDプレーヤーやカセットプレーヤーなどの外部機器のライン出力から接続します。
形状はRCA型ピンジャックです。

⑬ マイクホルダー

専用ワイヤレスマイクロホンATW-T705を使用しない時に、収納しておくことが可能です。

* ホルダーを手前に倒し、マイクロホンを差し込んでください。

⑭ AC電源コード差込口

⑮ AC電源コード (ケーブル長 2.5m)

家庭用100V、50/60Hzをご使用ください。

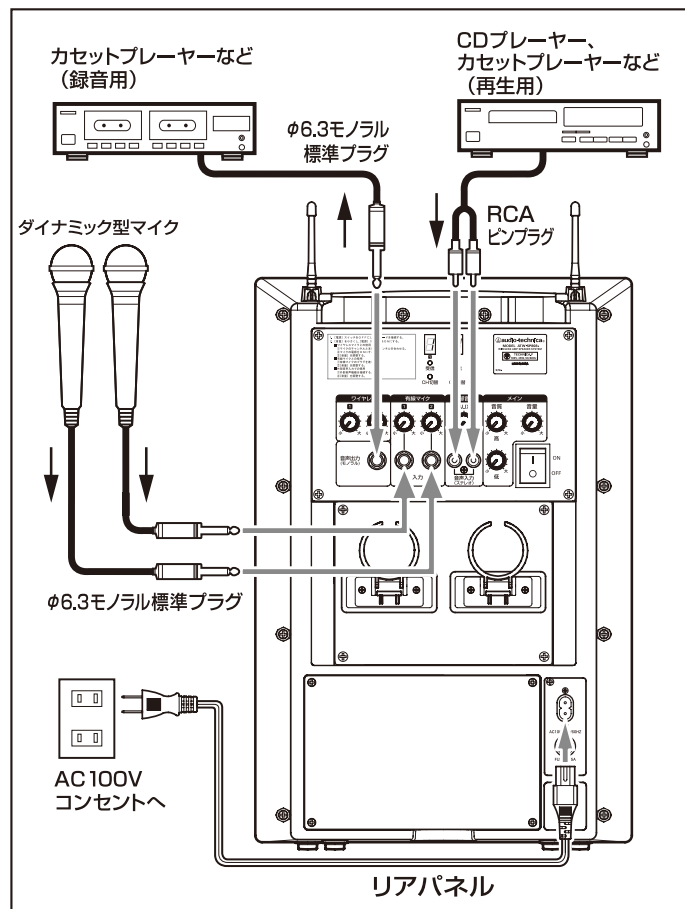
⑯ アンテナ

必ず立ててご使用ください。

接続のしかた

* 接続の前に本製品の音量ボリュームは、すべて最小にし、音質コントロールはセンターポジションにしてください。また接続機器の音量ボリュームも必ず最小にしてから接続してください。

1. ワイヤードマイクロホンをマイク入力端子に接続します。
 2. 再生用CDプレーヤーやカセットプレーヤーなどを本製品(リアパネル)の外部音声入力端子へ接続します。
- * 接続する機器の出力ジャックがφ3.5mmジャックの場合は、別売のケーブルまたは変換プラグをご使用ください。
3. 録音用カセットプレーヤーなどを音声出力端子へ接続します。
 4. AC電源コードを本体AC電源コード差込口とAC100Vコンセント口に差し込みます。



使いかた

* 接続機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

1. アンテナを立てます。
2. 別売のワイヤレスマイクロホン(以下マイク)に電池を入れます。
(ATW-T705/PまたはATW-T107/Pの取扱説明書を参照してください)
3. マイクを2本使用する場合はそれぞれ異なったチャンネルに設定します。
(ATW-T705/PまたはATW-T107/Pの取扱説明書を参照してください)
4. ワイヤレスアンプ(以下アンプ)の電源のOFF状態と音量ボリューム(リアパネル)が絞られている(最小)かを確認します。
5. 電源プラグをコンセント口に差し込みます。
(上記の「接続のしかた」を参照してください)
6. アンプの電源をONにします。
7. マイクの電源スイッチをON側にするとアンプ(リアパネル)の受信インジケータが点灯(イエロー)します。
8. 主音量以外のアンプの音量ボリュームを上げ調整します。
9. 音に歪みがないようアンプ(リアパネル)の主音量ボリュームを上げ、出力を調整します。

* ワイヤードマイクロホンやCDプレーヤーやカセットプレーヤーなどの外部機器をつなぐ場合は、電源のOFF状態と音量ボリュームが絞られている(最小)ことを確認してから接続してください。

故障かな？と思う前に

ワイヤレスアンプの電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから外れていませんか？
- ⇒ 6ページの「接続のしかた」を参照ください

音が出ない

- 本製品のマイク、または主音量ボリュームを絞りにきっていませんか？
- マイクロホンとワイヤレスアンプの周波数がありますか？
- ワイヤードマイクロホンの場合、プラグがマイク入力端子から外れていませんか？
- ⇒ 4～5ページの「各部の名称と機能」と6ページの「使いかた」を参照ください
- 2本のマイクロホンの周波数が同じに設定されていませんか？
- マイクロホンの電源が**OFF**になっていませんか？
- ⇒ ワイヤレスマイクロホン **ATW-T705/P** の取扱説明書を参照ください

外部接続機器からの音がでない

- 接続機器のプラグが外部音声入力端子から外れていませんか？
- 接続した機器は再生モードになっていますか？
- 接続した機器のボリュームを絞りにきっていませんか？
- ⇒ 6ページの「接続のしかた」を参照ください

ワイヤレスアンプが受信しない、電波の到達距離が短い

- アンテナを立てていますか？
- ⇒ アンテナを2本共立ててください
- ワイヤレスマイクロホンとワイヤレスアンプの周波数がありますか？
- 近くで同じ周波数帯（B帯）のワイヤレスシステムを使用していないですか？
- ⇒ 4～5ページの「各部の名称と機能」を参照ください

ノイズが出る

- 各ケーブルは確実に機器に接続されていますか？
- 近くに蛍光灯や電気器具などのノイズ発生源はありませんか？
- 同じ周波数のワイヤレスマイクロホンを同時使用していませんか？
- 近くで同じ周波数帯（B帯）のワイヤレスシステムを使用していないですか？
- ⇒ 3ページの「2本のワイヤレスマイクを使用するには」と6ページの「使いかた」を参照ください

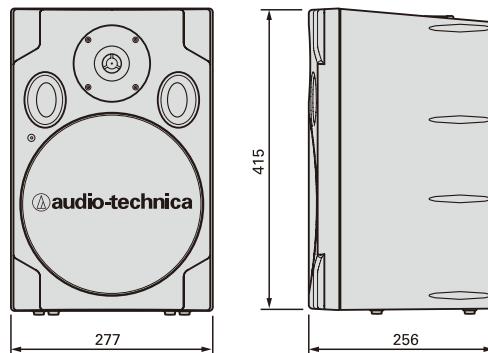
音が割れる

- 入力信号が大きすぎませんか？
- ⇒ つないだ機器の音量を下げます

音が小さい

- 入力信号が小さすぎませんか？
- ⇒ つないだ機器の音量を上げます

外形寸法図 (単位：mm)



テクニカルデータ

システム総合特性

送受信周波数	: 1 (806.125MHz)	周波数特性	: 100Hz～15kHz
	2 (806.375MHz)	使用温度範囲	: 5℃～45℃
	3 (807.125MHz)		
	4 (807.750MHz)		
	5 (809.000MHz)		
	6 (809.500MHz)		
	の6波から1波をスイッチで選択		

ワイヤレスアンプ ATW-SP808/P

電源	: AC100V、50/60Hz
消費電力	: 35W
外形寸法	: H415×W277×D256mm
質量	: 約9.9kg

〈ワイヤレスレシーバー部〉

受信方式	: ダブルスーパーヘテロダイン方式
	1st IF 110.6MHz (チューナー1)
	51.75MHz (チューナー2)
	2nd IF 10.7MHz
局部発振方式	: 水晶制御PLLシンセサイザー
受信感度	: 21dBμ (SN比: 60dB JIS-A
	聴感補正、周波数偏移±10kHz)
歪率	: 1%以下
出力レベル	: -9dBV
	(±10kHz 周波数偏移 1kHz)
アンテナ	: 1/4λヘリカルアンテナ

〈アンプ部〉

定格出力	: 60W
定格歪率	: 2%以下
入力インピーダンス	: MIC1、2 100kΩ
	: 外部音声入力端子 45kΩ
入力感度	: MIC1、2 = -37dBV
	: 外部音声入力端子 = -14dBV
SN比	: 80dB (外部音声入力端子)
出力インピーダンス	: 音声出力端子 45kΩ

〈スピーカー部〉

型式	: バスレフ型
スピーカーユニット	
	(ウーハー部): 20cm コーンタイプ
	(ツイーター部): 2.5cm ドームタイプ
周波数帯域	: 95Hz～20kHz
出力音圧レベル	: 88dB

付属品	: AC電源コード(コード長 2.5m)
(改良などのため予告なく変更することがあります。)	

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明書や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00～17:30)

商品のお問い合わせや故障・修理のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口及びホームページの「サポート」までお願いします。

- 相談窓口(お問い合わせ) ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
- サービスセンター(故障・修理) ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

2323036600